




心をこめて精一杯活動実施中  
 加古川市立  
 志方東小学校   
 令和5年度  
 学校便り 第22号  
 R5.9.29 発行

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果まとめその1

4月18日（火）に行われた「全国学力・学習状況調査」では、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、「国語」「算数(数学)」の学習状況と児童生徒の学校や家庭での生活実態についての調査が実施されました。調査内容については、児童の学力の一部ではありますが、結果を基に本校の現状と課題を分析してまとめましたので、その概要を保護者の皆様にお知らせいたします。

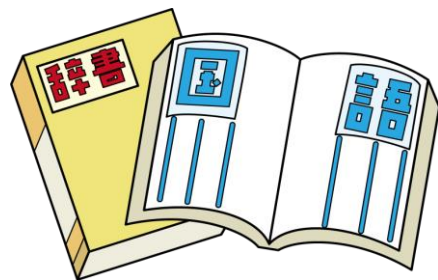
### 国語科

#### ○概ね着いている力

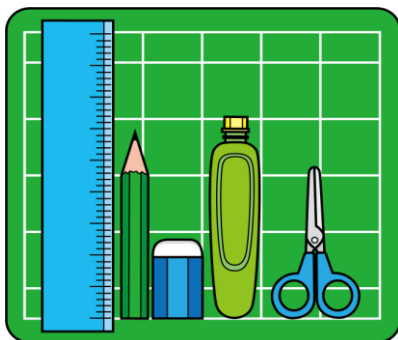
- ・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉える
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する  
 ・漢字を文中で正しく使う

#### ▲これから着けたい力

- ・情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係性の表し方を理解し使う
- ・目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つける



◎情報の関係をさまざまな方法で整理することで、考えを明確なものにしたり、思考をまとめたりできることを実感させる学習を意識する。



### 算数科

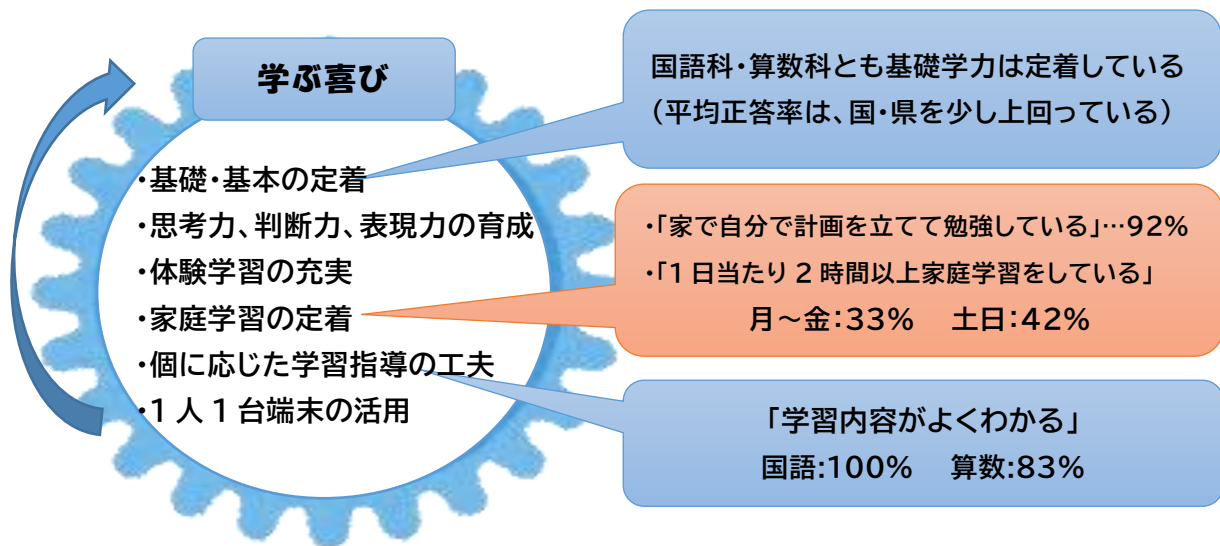
#### ○概ね着いている力

- ・伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係であるかどうかの違いがわかる
- ・正方形の意味や性質について理解している
- ・( )を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連づけて読み取る
- ・加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりする
- ・「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取る

#### ▲これから着けたい力

- ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する
- ・正三角形の意味や性質について理解する
- ・百分率で表された割合について理解する
- ・ $(2\text{位数}) \div (1\text{位数})$ の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考える

◎図形の観察や操作活動を通して、図形の意味や性質について理解し、それらを活用しながらさらに知識理解を深められるような学習を意識する。



### 学力調査 課題に対するまとめ

### ◎2 教科とも基礎学力（知識・技能）が定着している

- 国語科…学習指導要領の内容である思考力、判断力、表現力については、概ねついている。しかし、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表すことや、情報と情報との関係性や図などによる語句と語句との関係性を理解することに課題が見られた。その対策として、普段の授業から文章を要約する際、文に線を引いたり、ポイントとなる言葉は赤で囲むなど、情報を整理しながら、読み進める習慣をつけさせる。国語科に限らず各教科で、自分の考えが伝わるよう書くときにイメージマップや図に表して、文章の構造を考えさせる。また、ジャムボードを活用して、キーワードを並べて整理させる。Google スライドでまとめる際は、接続詞を意識して図に表すなど、考えたことが可視化できるように指導の工夫を図る。さらに、膨大な情報の整理の一助に検索エンジンだけでなく、生成 AI のような先進技術も活用しつつ、しっかり自分の頭で考える力をつけていく。
- 算数科…（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連づけて読み取ることなど基本的な計算は理解している。しかし、図形の意味や性質について考える力に課題が見られた。そこで、図形の観察や操作活動などを通して、図形の意味や性質を考えることができるようにさせる。例えば、正三角形の1つの角度は必ず  $60^\circ$  であることを確認したり、高さが等しい三角形について底辺と面積の関係性を、言葉や数を使って文で説明する協同探究の場を積極的に設定する。発達段階に応じて、折り紙や竹ひごのような具体物を用いた操作活動は大切であるが、図形を移動させることができ、空間認知しやすいことから、デジタル教科書も積極的に活用していきたい。どの単元においても、公式など基礎となることは押さえつつ、「知っている」だけに留まることなく、どのように生活と関係しているか発見できるような授業改善に一層取り組んでいく。ご家庭においても、子どもたちの「なぜ」に関心をもっていただくことがやる気の原因力になると考える。
- ★国語科では、思考力・判断力・表現力が問われる問題に対し、全国・県を上回る結果であり、特に「話すこと・聞くこと」は大きく上回っていました。これは、学習のまとめなどを Google スライドを活用して発表する機会が以前より格段に増えた結果であろうと考えられます。これからも学習コンテンツの最大限の活用、並びに従来の学習指導の長所を生かしながら「思考力・判断力・表現力」を育成し、児童の主体的に学ぶ態度につなげていきたいと思ひます。